

潜伏キリシタン 世界遺産に決定

長崎、熊本

【マナマ共同＝藤原崇志】のキリスト教禁制と独自の中東パレーンで開催中の仰の歴史を伝える「長崎と国連教育科学文化機関（ユネスコ）天草地方の潜伏キリシタン（第42回世界遺産委員会議）を世界文化遺産に登録する

と決定した。「2世紀以上にわたる禁教下で信仰を継続した独特の宗教的伝統を物語る、他に類を見ない証拠」と高く評価し、12の構成資産全てが世界遺産にふさわしいと判断した。

【解説2面、関連記事2、12面】

2015年に日本政府が推薦したが、ユネスコ諮問委員会は30日、江戸時代以降

機関に内容の見直しを促すにわたる禁教下で信仰を継続した独特の宗教的伝統を物語る、他に類を見ない証拠」と高く評価し、12の構成資産全てが世界遺産にふさわしいと判断した。国内の世界遺産は22件だ。国内の「富士山（山梨、静岡）以降、6年連続での登録。内訳は文化遺産18、自然遺産4となる。潜伏キリシタン関連遺産は、信徒が暮らした「天草島（鹿児島、沖縄）の内、鹿兒島、沖縄の西表島、後世に残すという強い意志を示せるかが鍵となる。

（2018年7月1日付・若手日報1面）

助言受け価値再構築

「潜伏キリシタン」世界遺産登録

後続にも貴重な経験

【解説】世界遺産に再挑戦した長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産が登録を果たしたのは、政府と地元自治体が国連教育科学文化機関（ユネスコ）諮問機関の助言を受けて真摯に遺産価値を高め直し、抜本的に推薦内容を改めた結果だ。審査が厳しさを増す中、登録を目指す多くの後続候補にも貴重な経験になったと言える。

【本記1面】

（2018年7月1日付・若手日報2面）

政府は当初、教会など建物中心の構成で登録を目指したが、文化財の専門家による諮問機関は、禁教下の信仰継承という特異な歴史こそ重要だと指摘。内容の大幅な変更を求めた。地元は推薦を取り下げ、信仰を今に伝える集落などが中心の構成に変更。回り道にはなったが、登録をた

島（鹿児島、沖縄）の内、鹿兒島、沖縄の西表島、後世に残すという強い意志を示せるかが鍵となる。

世界遺産委員会の決議のポイント

- 潜伏キリシタン関連遺産は、2世紀以上にわたる禁教下で信仰を継続した独特の宗教的伝統を物語る他に類を見ない証拠であり、世界遺産に登録
- 日本政府に対し、既に廃絶した離島の集落跡や教会跡などの記録資料を作成するよう勧告
- 離島などでの受け入れ可能な観光客数を検討し、新規の開発事業による影響を評価するよう勧告

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産 江戸時代初期から明治時代初期の禁教下でひそかにキリスト教を信仰し、独特の宗教的伝統を育んだ信徒にまつわる史跡や集落。長崎県は、幕末に完成した国宝の大浦天主堂や「島原の乱」の舞台となった原城跡、離島の集落など7市町の計11資産を抱える。熊本県天草市には、貝殻の内側の模様を聖母マリアに見立てて祈った崎津集落がある。

- 二つの記事を読んで次の問いに答えなさい。
1. 記事中の〇〇〇〇〇に、世界遺産登録を行う国連教育科学文化機関をカタカナ4文字で書きなさい。

ユネスコ

2. 「潜伏キリシタン」世界遺産登録は、二つの県に位置する12の資産が登録されました。その県を書きなさい。

長崎県

熊本県

3. 第42回世界遺産委員会は、どのような点を高く評価し、世界遺産にふさわしいと判断したのか、次の文にあてはまるように記事から抜き出なさい。

「2世紀以上にわたる禁教下で信仰を継続した独特の宗教的伝統を物語る、他に類を見ない証拠」と高く評価し、世界遺産にふさわしいと判断した。

4. 今回の世界遺産登録によって、国内の世界遺産はいくつ登録されているか、次の（ ）にあてはまる数字を書きなさい。

文化遺産（18）件

自然遺産（4）件

5. 今回の世界遺産に登録された資産には、1637～38年に九州で起きた政府軍に抵抗した一揆の際、キリシタンの農民が立てこもった原城跡が含まれている。記事では「島原の乱」と記載されているこの一揆を何というか、書きなさい。

島原・天草一揆

6. 今年、諮問機関から内容不備を指摘され、政府が推薦を取り下げ、2020年に再挑戦すると記事に書かれている世界自然遺産候補の名称を書きなさい。

奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島

※日本にある世界遺産全22件を、この機会に調べてみましょう。

年 組 名前